

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公開番号】特開 2020-110713 (P2020-110713A)

【公開日】令和 2 年 7 月 27 日 (2020.7.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-029

【出願番号】特願 2020-77329 (P2020-77329)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 3 日 (2020.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

変動表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
変動表示に関する情報を保留記憶情報として記憶する保留記憶手段と、
保留記憶情報に対応する保留表示を表示可能な保留表示手段と、
変動表示を仮停止した後に再度変動表示する再変動表示演出を実行可能な再変動表示実行手段と、

変動表示の実行中に、当該変動表示に対応する変動対応表示を表示可能な変動対応表示手段と、

対象となる保留記憶情報の変動表示が実行される以前に保留表示の態様を変化させる保留表示態様変化と、当該変動表示の実行中に変動対応表示の態様を変化させる変動対応表示態様変化との少なくともいずれかの表示態様変化を、対象となる保留記憶情報に対応する保留表示期間および変動表示期間の期間中における複数のタイミングのうちのいずれかのタイミングで実行することが可能な表示態様変更手段と、

前記保留表示態様変化を示唆する第 1 変化演出と、前記変動対応表示態様変化を示唆する第 2 変化演出との少なくともいずれかの変化演出を、対象となる保留記憶情報に対応する保留表示期間および変動表示期間の期間中における複数のタイミングのうちのいずれかのタイミングで実行することが可能な変化演出実行手段とを備え、

前記表示態様変更手段による変化対象となる前記保留表示および前記変動対応表示の表示態様が、通常態様とは異なる第 1 特定態様と第 2 特定態様とのいずれであるかに応じて、前記表示態様変化を実行するタイミングの選択割合が異なるとともに、前記変化演出を実行するタイミングの選択割合が異なり、

前記変化演出実行手段は、

前記第 1 変化演出および前記第 2 変化演出のそれぞれについて、表示態様が変わる割合が異なる複数種類の変化演出のうちから選択した変化演出で変化演出を実行し、

前記再変動表示演出の実行に関連したタイミングにおいて前記第 2 変化演出を実行可能である、ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(手段A) 本発明による遊技機は、

変動表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

変動表示に関する情報を保留記憶情報として記憶する保留記憶手段と、

保留記憶情報に対応する保留表示を表示可能な保留表示手段と、

変動表示を仮停止した後に再度変動表示する再変動表示演出を実行可能な再変動表示実行手段と、

変動表示の実行中に、当該変動表示に対応する変動対応表示を表示可能な変動対応表示手段と、

対象となる保留記憶情報の変動表示が実行される以前に保留表示の態様を変化させる保留表示態様変化と、当該変動表示の実行中に変動対応表示の態様を変化させる変動対応表示態様変化との少なくともいずれかの表示態様変化を、対象となる保留記憶情報に対応する保留表示期間および変動表示期間の期間中における複数のタイミングのうちのいずれかのタイミングで実行することが可能な表示態様変更手段と、

前記保留表示態様変化を示唆する第1変化演出と、前記変動対応表示態様変化を示唆する第2変化演出との少なくともいずれかの変化演出を、対象となる保留記憶情報に対応する保留表示期間および変動表示期間の期間中における複数のタイミングのうちのいずれかのタイミングで実行することが可能な変化演出実行手段とを備え、

前記表示態様変更手段による変化対象となる前記保留表示および前記変動対応表示の表示態様が、通常態様とは異なる第1特定態様と第2特定態様とのいずれであるかに応じて、前記表示態様変化を実行するタイミングの選択割合が異なるとともに、前記変化演出を実行するタイミングの選択割合が異なり、

前記変化演出実行手段は、

前記第1変化演出および前記第2変化演出のそれぞれについて、表示態様が変化する割合が異なる複数種類の変化演出のうちから選択した変化演出で変化演出を実行し、

前記再変動表示演出の実行に関連したタイミングにおいて前記第2変化演出を実行可能である、ことを特徴とする。

または、

(手段1) 本発明による遊技機は、変動表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機であって、未だ開始されていない変動表示について、保留記憶として記憶する保留記憶手段（例えば、第1特図保留記憶部151A、第2特図保留記憶部151B、第1始動入賞時受信コマンドバッファ194A、第2始動入賞時受信コマンドバッファ194B等）と、保留記憶手段が記憶する保留記憶に対応する保留表示（例えば、保留表示等）を表示可能な保留表示手段（例えば、画像表示装置5、RAM102、第1始動入賞記憶表示エリア5HL、第2始動入賞記憶表示エリア5HR等）と、変動表示の実行中に、当該変動表示に対応する変動対応表示（例えば、アクティブ表示等）を表示可能な変動対応表示手段（例えば、演出制御用CPU120がS532等を実行する部分）と、保留記憶手段に記憶された保留記憶のうちに有利状態となる保留記憶が記憶されていることを示唆する先読み予告演出（例えば、保留変化演出やゾーン演出）を実行可能であるとともに、実行中の変動表示が有利状態となることを示唆する予告演出（例えば、アクティブ表示変化演出や、当該変動に対する通常期待度の予告演出や高期待度の予告演出）を実行可能である演出実行手段（例えば、演出制御用CPU120がS172、S532等を実行する部分）とを備え、演出実行手段は、対象となる保留記憶の変動表示が実行される以前に保留表示の態様を変化させる保留表示態様変化（例えば、図38に示す保留表示中変化）と、当該変動表示の実行中に変動対応表示の態様を変化させる変動対応表示態様変化（例えば、図39に示すアクティブ表示中変化）との少なくともいずれかの表示態様変化を、対象となる保留記憶に対応する保留表示期間および変動表示期間の期間中における複数のタイミングのうちのいずれかのタイミングで実行させる

ことが可能な表示態様変更手段（例えば、演出制御用CPU120が、図27に示すS532、図40に示すアイコン演出設定処理、図22に示すS172等の処理を実行する部分）を含み、表示態様変更手段は、変化対象の表示の種別が、通常表示とは異なる第1特定表示（例えば、図36（A）に示す文字アイコン表示）と第2特定表示（例えば、図36（B）に示すキャラクタアイコン表示）とのいずれであるかに応じて、表示態様変化を実行させるタイミングの選択割合が異なり（例えば、図28（B）、（C）のように、文字アイコン表示は保留表示中に演出実行割合が高く、キャラクタアイコン表示はアクティブ表示中に演出実行割合が高い。そして、図28（F）～（M）のように、演出実行時に実際に表示態様が変化する割合が、保留表示中と、アクティブ表示中とで等しい。したがって、文字アイコン表示と、キャラクタアイコン表示とのいずれであるかに応じて、保留表示中とアクティブ表示中とで、アイコンの表示態様が変化する頻度が異なり、保留表示中とアクティブ表示中とのいずれで表示態様を変化させるかを選択する割合が異なる。）、演出実行手段は、複数種類の先読み予告演出を実行可能であり（例えば、保留変化演出やゾーン演出を、複数の演出態様により実行可能である）、先読み予告演出の実行態様に応じて予告演出を実行する（例えば、演出制御用CPU120が、図42に示す予告演出設定処理において、高期待度の保留変化演出とゾーン演出との実行態様に応じて、図44～図46に示す第1～第4高期待度演出パターンテーブルのいずれかを選択し、当該変動に対する高期待度の演出を設定する）ことを特徴とする。

そのような構成によれば、保留表示態様変化と変動対応表示態様変化とについて、変化対象の表示の種別および表示態様変化のタイミングに遊技者を注目させることができ、保留表示の態様の变化について遊技の興趣を向上させることができる。